

ハリケーンカトリーナの高潮・高波災害に関する日本セミナー

- 第二回国際沿岸防災ワークショップフォローアップ会議 -

日時 平成 18 年 6 月 8 日 13:00-17:30

場所 笹川記念会館 (〒108-0073 東京都港区三田 3-12-12)

会議趣旨

昨年 8 月 29 日に発生したハリケーンカトリーナによる高潮・高波災害は自然災害として米国史上最悪であった。この災害の実態やその原因などについて、米国では種々の調査がなされており、本年 6 月 1 日には、IPET と呼ばれる米国土木学会等による災害調査タスクフォースの報告書が発刊される予定となっている。わが国の沿岸防災にとってもハリケーンカトリーナの災害は、学ぶべきことが非常に多く、本年 1 月 18・19 日に東京で開催された、第二回国際沿岸防災ワークショップでは、ハリケーンカトリーナの災害実態に関する緊急報告がなされた。しかしながら、調査が十分進んでいなかったため、災害の概要の説明だけにとどまっている。

本フォローアップ会議では、米国土木学会の海岸・海洋・港湾・河川委員会の B. Edge 委員長ほかを招き、ハリケーンカトリーナの高潮・高波災害に関するセミナーを開催する。セミナーでは、6 月 1 日に刊行される報告書の説明とともに、日本側から日本の高潮・高波災害に関する報告を行い、これからの沿岸防災のあり方についても意見を交換する。なお、会議は同時通訳によって日本語と英語で行う。

会議内容(予定)

1. 開会式 13:00-13:15

開会挨拶

港湾空港技術研究所 理事長 小和田亮

開会挨拶

土木学会(予定)

来賓挨拶

国土交通省(予定)

2. 日本側の発表 13:15-14:05

日本の高潮・高波災害

京都大学教授 高山知司

ゼロメートル地域の高潮防災

東京大学教授 磯部雅彦

3. 米国側の発表 14:15 - 16:15

ハリケーンカトリーナ災害のまとめ

テキサス A&M 大学教授 Billy L. Edge

ニューオーリーンの現地調査

ジョンホプキンス大学教授 Robert A. Dalrymple

ハリケーンカトリーナの海岸と堤防への影響

フロリダ大学教授 Robert G. Dean

ルイジアナの将来の防御 米国陸軍工兵隊技術研究開発センター

Jeffrey A. Melby

4. パネル討議 16:25-17:25

今後の沿岸防災

(コーディネーター: 港湾空港技術研究所 研究主監 高橋重雄)

5. 閉会式 17:25-17:30

閉会挨拶

沿岸技術研究センター 理事長 村田 進

主催: 港湾空港技術研究所・沿岸技術研究センター・土木学会

協賛(予定): 国土交通省ほか



会議の参加

会議の参加は無料です。多数のご参加をお待ちしております。参加ご希望の方は、会議連絡担当沿岸センターのホームページ（<http://www.cdit.or.jp>）から登録してください。または、沿岸技術研究センター企画部斎藤までメール（ws2006@cdit.or.jp）あるいはファックス（03-3234-5877）で 御芳名 所属 連絡先（住所・電話/ファックス番号・メールアドレス）をお知らせください。5月8日から6月2日までにお知らせいただければ幸いです。会場の収容人数に達した場合は申し訳ありませんが締め切りとさせていただきます。なお、当日の会場受付は12時30分からの予定です。

会議の情報

会議の最新の情報はホームページ（港湾空港技術研究所 <http://www.pari.go.jp> 沿岸技術研究センター <http://www.cdit.or.jp>）に掲載予定です。また、会議内容についてご質問等があれば、港湾空港技術研究所の高橋（takahashi_s@pari.go.jp）までメールでお知らせください。

土木学会 CPD プログラム

本セミナーは土木学会 CPD プログラムに認定されています。

交通のご案内

笹川記念会館

〒108-0073 東京都港区三田 3-12-12

TEL.03-3454-5062（代） FAX.03-3454-5544

- JR 田町駅（三田口）より徒歩 8 分
- 都営地下鉄三田線 三田駅より徒歩 6 分
- 都営地下鉄浅草線 泉岳寺駅より徒歩 3 分

会場案内図

